

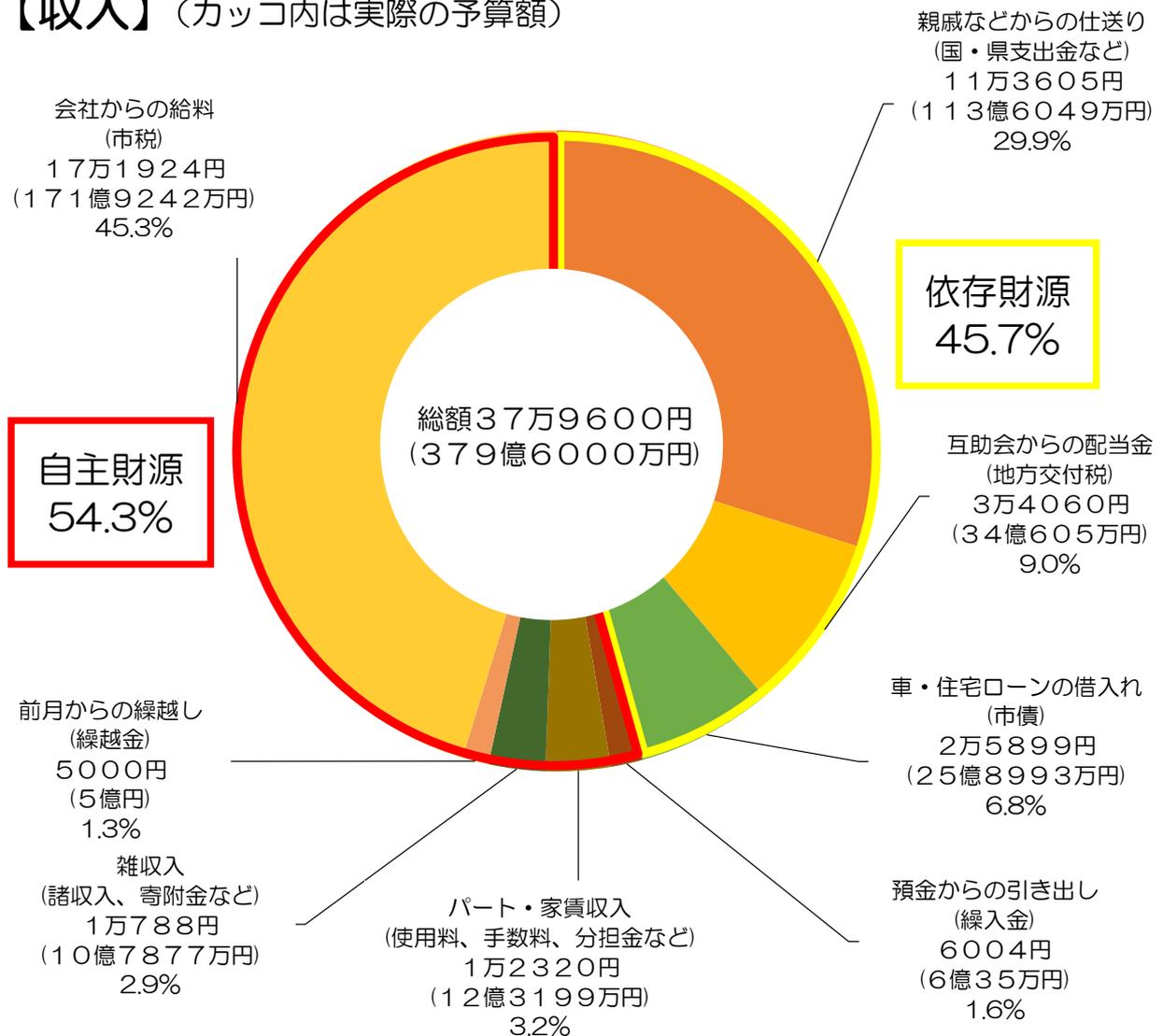


平成31年度予算 我孫子市の家計簿

平成31年度の当初予算がまとまりました。「予算」とは、1年間のお金の出入りを、額と使い道を決めた上で、見積もり計算したものです。

その予算の全体像を分かりやすく説明するため、我孫子市一般会計予算額を10万分の1に縮小し、みなさんの家庭の1か月の家計簿にたとえて、項目も簡単な言葉に置き換えてまとめました。

【収入】（カッコ内は実際の予算額）



会社からの給料（市税）や預金からの引き出し（繰入金）などは自主財源で、親戚などからの仕送り（国・県支出金など）やローンの借入れ（市債）は依存財源です。自主財源の割合が高い方が、家計のやりくりがしやすくなります。我孫子市では54.3%（前年度55.1%）が自主財源、45.7%（前年度44.9%）が依存財源になっています。前年度よりも自主財源の割合が減っているのは、預金からの引き出し（繰入金）が減額となったことによるものです。依存財源の割合が前年度よりも増えているのは、親戚などからの仕送り（国・県支出金など）や互助会からの配当金（地方交付税）が大幅に増額となったことによるものです。

車や住宅の購入（市では道路や学校の建設）などの大きな支出で、何十年も利用するものについては、借入れにより事業をおこない、今利用する人（市民）だけではなく、将来これを使う人（市民）にも負担してもらおう方が良い場合もありますが、借入れと返済を計画的に行い、将来世代に大きな負担を残さないよう、安易に借入れに頼らずに効率的な生活設計を行っていくことが大切です。

【収入】

※カッコ書きは実際の予算額

内 容		金 額	割 合	前年度比 増減率
○会社からの給料	市の収入の中心で、市民税、固定資産税、市たばこ税、都市計画税など	17万1924円 (171億9242万円)	45.3%	0.5
○親戚などからの仕送り		11万3605円 (113億6049万円)	29.9%	4.2
・国・県支出金	特定の事業を実施するために国・県から交付されたもの	8万4515円 (84億5149万円)	22.2%	4.4
・交付金	利子割交付金、地方消費税交付金、地方特例交付金、自動車取得税交付金など、法令に基づいて国・県から一定割合で交付されたもの	2万6400円 (26億4000万円)	7.0%	4.2
・地方譲与税	本来市税となる税源をいったん国税として徴収し、譲与されたもの	2690円 (2億6900万円)	0.7%	△ 0.7
○互助会からの配当金 (地方交付税)	使い方が特定されず、地方自治体の財源として国から交付されたもの	3万4060円 (34億0605万円)	9.0%	15.0
○車・住宅ローンの借入 (市債)	市の事業や財政運営のために国や金融機関から借り入れた資金	2万5899円 (25億8993万円)	6.8%	△ 20.6
○預金からの引き出し (繰入金)	弾力的な資金運用を行うため、基金や特別会計から繰り入れたもの	6004円 (6億0035万円)	1.6%	△ 50.4
○パート・家賃収入		1万2320円 (12億3199万円)	3.2%	2.1
・使用料・手数料	市民体育館など市の施設利用や、戸籍の証明など行政サービスに対する料金	5822円 (5億8218万円)	1.5%	0.2
・分担金・負担金	保育園や学童保育など、特定の事業により利益を受ける団体や個人から徴収したもの	6498円 (6億4981万円)	1.7%	3.9
○雑収入		1万0788円 (10億7877万円)	2.9%	1.4
・諸収入	市税延滞金、預金利子、雑入など、他のどの歳入科目にも含まれない収入	9653円 (9億6530万円)	2.5%	0.5
・寄附金	市民の方などから受け入れたもの	170円 (1699万円)	0.1%	97.3
・財産収入	市が所有する財産を貸付け、出資し、または売り払ったことにより得た現金収入	965円 (9648万円)	0.3%	2.2
○前月からの繰り越し (繰越金)	前年度の決算で生じた剰余金のうち、平成29(2017)年度の歳入に充てたもの	5000円 (5億0000万円)	1.3%	0.0
合 計		37万9600円 (379億6000万円)	100.0%	△ 0.7

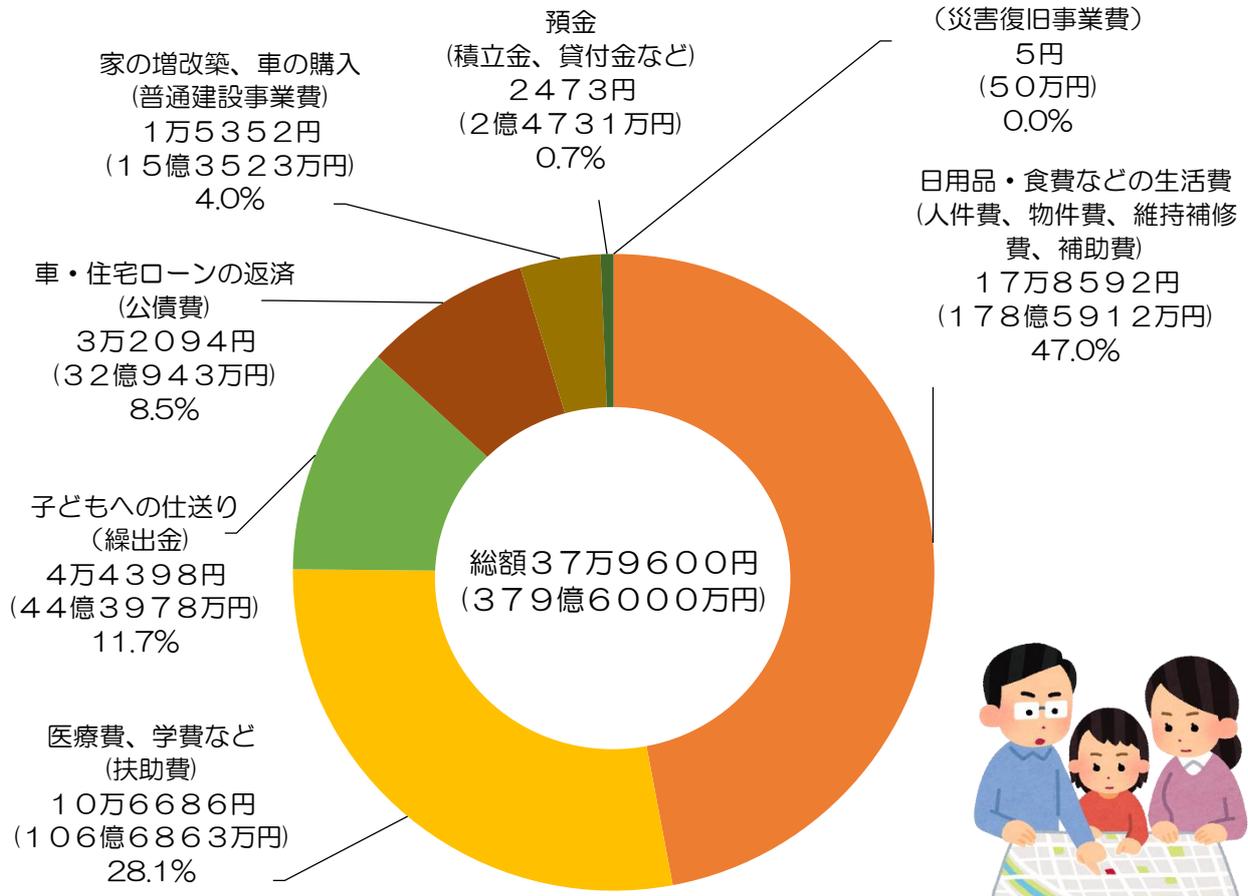


収入のなかで、先月より増減している項目はなんですか？

先月に比べると、親戚などからの仕送りや互助会からの配当金が増えています。その反面、車・住宅ローンの借り入れ、預金からの引き出しは減っています。



【性質別支出】（カッコ内は実際の予算額）



医療費、学費などの扶助費（幼稚園型認定こども園に係る施設型給付費や生活保護費）が増額となるものの、「はしご車の整備」や「湖北駅ホーム屋根等の整備」、「市民体育館テニスコートの改修」、「旧井上家住宅の二番土蔵保存整備」などの大規模な事業が完了したため、前年度に比べ全体で0.7%の減となります。

医療費・学費などは急に切り詰めることが難しく、子育て環境や高齢者の生活支援などの充実を図るため年々増えてきています。自主財源が限られている中で、真に必要とする支出を全体的に見直しながら計画的にやりくりし、財政体質の向上に努めています。

【支出】（性質別）

※カッコ書きは実際の予算額

内 容		金 額	割合	前年度比 増減率
○日用品・食費などの生活費		17万8592円 (178億5912万円)	47.0%	0.1
・人件費	職員の給料や、委員への報酬など	8万1632円 (81億6318万円)	21.5%	△ 0.7
・物件費	消耗品や備品の購入、公共施設の光熱水費、パソコンなどの賃借料、ごみ収集や給食調理業務の委託料など	7万6358円 (76億3577万円)	20.1%	1.1
・補助費等	関係機関や民間団体などが行う事業に対して、市が一定の義務や責任を果たすために支出する負担金や、民間団体などが行う事業をより促進し、奨励するために支出する補助金など	1万7552円 (17億5522万円)	4.6%	△ 2.1
・維持補修費	公共施設の維持補修	3050円 (3億0495万円)	0.8%	8.0
○医療費・学費など (扶助費)	法令等に基づき、被扶助者に対して支出する経費(生活保護費や児童手当、児童扶養手当など)	10万6686円 (106億6863万円)	28.1%	7.5
○子どもへの仕送り (繰出金)	一般会計と特別会計または特別会計の相互間で、法律に基づく場合や歳入の不足を補うもの	4万4398円 (44億3978万円)	11.7%	0.0
○車・住宅ローンの返済 (公債費)	市債として借りた資金に利子を付けて返済するもの	3万2094円 (32億0943万円)	8.5%	6.0
○家の増改築・車の購入 (普通建設事業費)	道路、公園、公共施設の新・増設などの建設事業	1万5352円 (15億3523万円)	4.0%	△ 43.7
○預金(積立金、貸付金など)	市による基金への積み立て、関係機関への出資や市民の福祉増進を図るための貸付け	2473円 (2億4731万円)	0.7%	△ 2.9
○災害による家の補修 など(災害復旧事業費)	福島第一原子力発電所事故に対する放射能対策経費など	5円 (50万円)	0.0%	0.0
合 計		37万9600円 (379億6000万円)	100.0%	△ 0.7

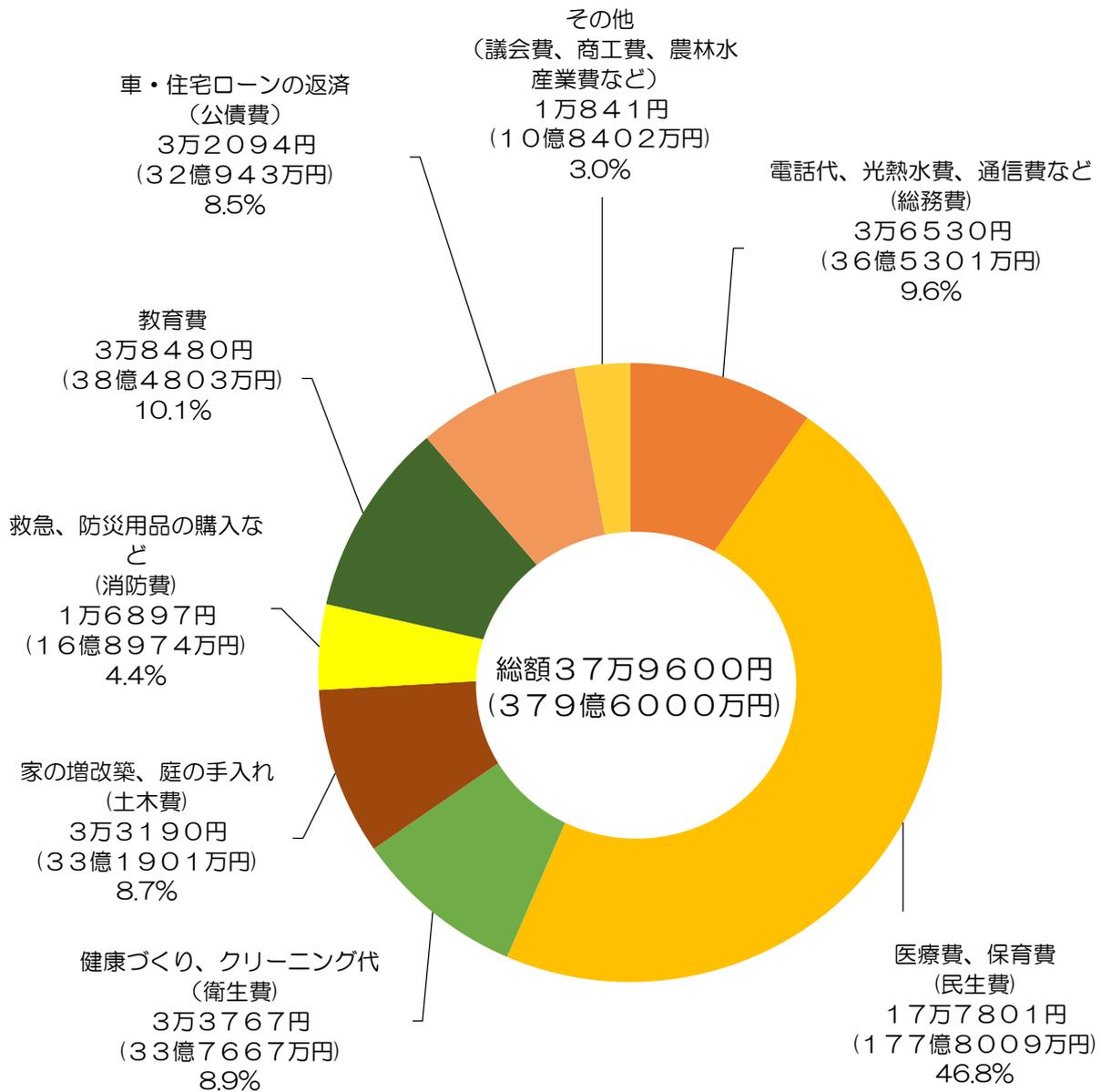


支出のなかで、先月より増減している項目は何ですか？

先月に比べると、医療費・学費や車・住宅ローンの返済が増えています。その反面、家の増改築・車の購入は大幅に減っています。



【目的別支出】（カッコ内は実際の予算額）



【支出】（目的別）

※カッコ書きは実際の予算額

内 容	金 額	割合	前年度比 増減率
○電話代、光熱水費、 通信費（総務費） 	3万6530円 （36億5301万円）	9.6%	3.6
○医療費・保育費 （民生費） 	17万7801円 （177億8009万円）	46.8%	3.1
○健康づくり、クリーニ ング代（衛生費） 	3万3767円 （33億7667万円）	8.9%	△ 2.2
○家の増改築、庭の手 入れ（土木費） 	3万3190円 （33億1901万円）	8.7%	△ 16.1
○救急、防災用品の購 入など（消防費） 	1万6897円 （16億8974万円）	4.4%	△ 13.0
○教育費 	3万8480円 （38億4803万円）	10.1%	△ 2.8
○車・住宅ローンの返 済（公債費） 	3万2094円 （32億0943万円）	8.5%	6.0

○その他 (議会費、商工費、農林水産業費など)		1万0841円 (10億8402万円)	3.0%	△ 2.7
・議会費	議会の活動に要する経費で、議員の報酬や議会事務など 	2911円 (2億9105万円)	0.8%	△ 5.7
・商工費	商業や工業の振興、観光事業、消費生活の向上などの経費 	3616円 (3億6156万円)	1.0%	△ 2.7
・農林水産業費	地産地消の推進など農業の振興や農業委員会の運営 	3314円 (3億3141万円)	0.9%	△ 0.7
・予備費	災害など予定外の支出に備えるためのもの 	1000円 (1億0000万円)	0.3%	0.0
合 計		37万9600円 (379億6000万円)	100.0%	△ 0.7